

鴻基散士著

吉岡温泉記

彰暉館發兌

026015-000-8

特22-696

吉岡温泉記

小林 彰義(鴻基) / 著

M25

ADC-3656



吉岡温泉記自序

吉岡温泉ハ應和二壬戌年今ヲ去ル九百數十年ノ昔時ニ開創シ地位ヲ

鳥取市ヲ距ル二里半許因伯縣道ニ沿テ傍ニ入ル七町餘腕車馬車ノ通

數二百餘ノ小市ニシテ郡役所アリ直税署分署アリ警察署アリ區裁判所出張所

金庫アリ商塵駢列シテ需用諸品モ備ハレリ前ハ湖山池ヲ擁シ

勝情遠概興泛舟釣魚ノ樂アリ加之後ニ秋葉山ヲ負ヘルヲ以テ一朝之ヲ攀躋

趣々曲渚回島烟波ノ奇景ヲ雙眸ニ救ム其眺望ノ絶佳ナル

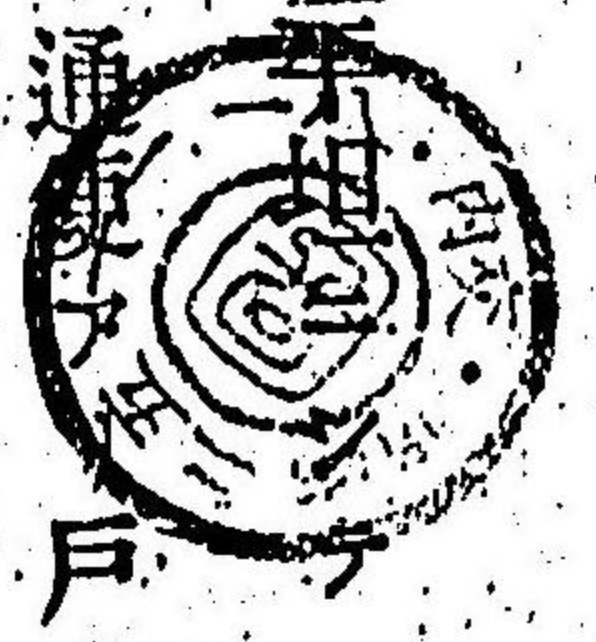
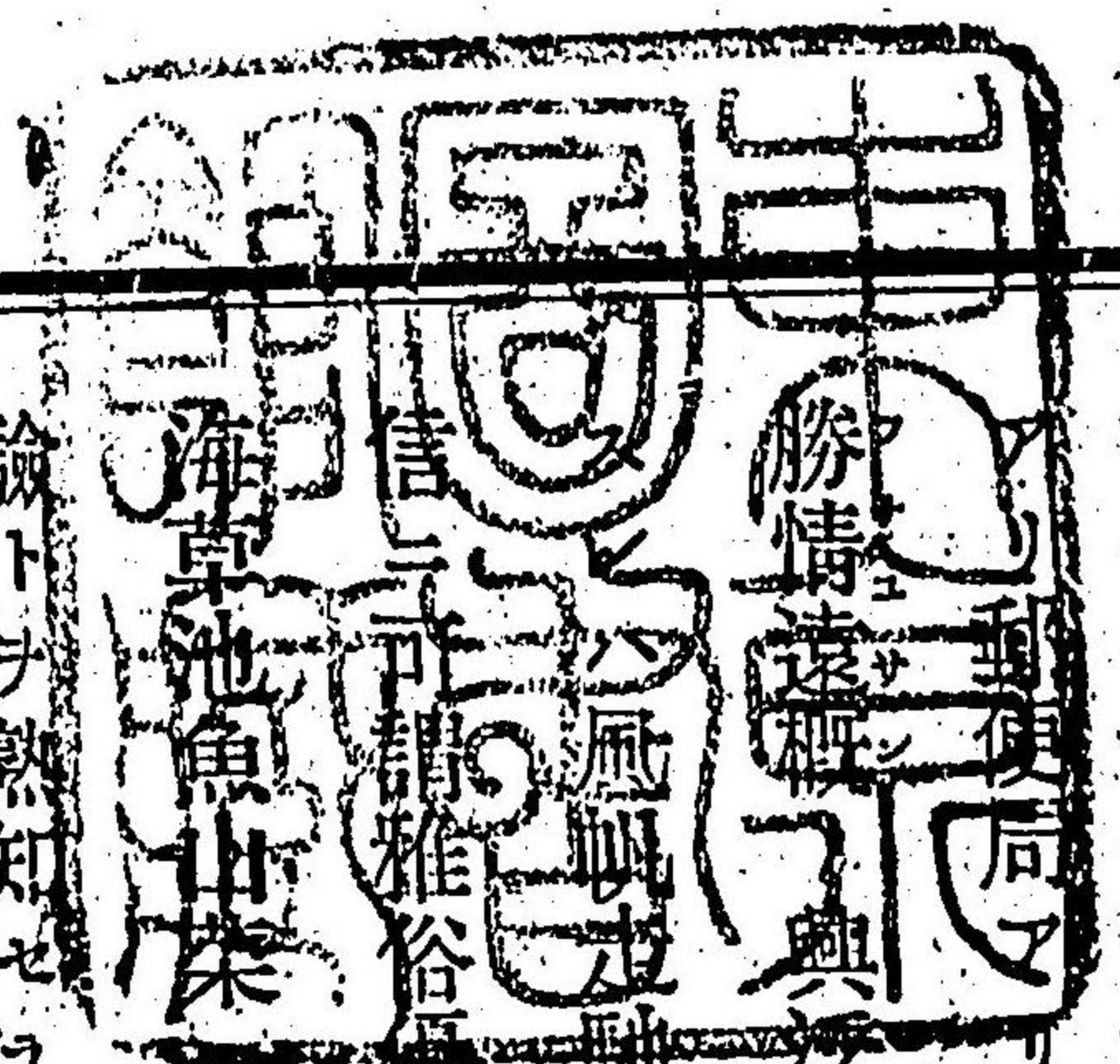
言可謂雅俗優樂適意ノ勝地ナリト且ツ北海ヲ隔ル僅ニ里強其滋養品ハ海魚

トシテ自由ナラサルハナシ然ルニ或ハ地位ノ如何ト温泉ノ効

驗トナ熟知セラルサルアリ余浩歎ニ堪ヘサルヲ以テ這回地位ノ光景ト泉質及

ヒ醫治効用ヲ併記シテ大方諸彦ノ一覽ニ供ス抑物必ス全備ヲ闕クハ自然ノ大

勢ニシテ固ヨリ天下温泉場居多ナリト雖モ恨ラクハ勝景アツテ滋養ニ乏シク



滋養ニ富ムモ或ハ勝景ヲ欠クノ憂アリ嗚呼吉岡温泉場ノ如キハ勝景滋養全備
 セリ身神保養ノ勝地タリト云フモ豈不可ナカラン余故ニ古記ニ徴シテ此小冊
 子ヲ著述シ以テ江湖ノ諸彦ニ廣告ス敢テ復タ將來ノ隆盛ヲ企望スト云爾

明治二十五年十月上澣

著者識



舟多る磯乃松原

ほのぼのと

緑のなほ

岡の里

吉岡温泉記

小林彰義著

因幡國高草郡吉岡温泉ナルモノハ、人皇六十二代村上天皇御宇天歷三年
頃此郷士葦岡長者ト稱スルモノアリ天性仁慈直諒ニノ衆善ヲ篤行シ佛陀ヲ
信敬ス豐華ノ身ニシテ奢侈ノ心ナク自家ヲ節儉シ他人ヲ救恤ス故ニ其家益榮
エ衆人彌仰ク此長者一女ヲ舉ク容姿艶美ニシテ蕙心蘭質ナリ父母ヲ鍾愛膏ヲ
ヲス此女如何ナル宿因ニヤ年十二ノ頃瘡毒ヲ發シ全身致膿其ノ懊惱ニ堪ヘス
三年ノ星霜ヲ經ルヤ凝脂ノ容姿モ醜醜ノ形象ト變シ國手ノ治術良劑ニモ其効
ヲ驗ハ所ス父母ヲ悲傷無限於是乎同郡古海ノ里今云葛蒲村菅蒲山ノ藥師如來塵添
抄第十七卷昔時當地藥師ニ願ヲ籠メ專念ニ宿業ヲ懺謝シ一心ニ救護ヲ祈請ス滿
ニ縁記アリ寺ノ本尊ナリ願ヲ夜靈夢ヲ感ス長者所有セル田圃字ウツニ柳ノ古木アリ其株下ニ温泉アリ
女ノ懊惱スル瘡毒ヲ洗クヘシト夢覺メテ同ク語り其處ヘ到リ柳木ヲ找ル地ヲ

堀ル數尺忽チ溫泉涌出ス洗浴スル三周日瘡痕全愈シ秀美ヲ容姿ニ復ス父母ヲ
欣躍亦無限其湯今ニ於テ株湯ト稱ス時既ニ村上天皇應和二壬戌年ナリ三
條天皇長和元年ノ頃漸時家屋ヲ軒列シ湯壺ヲ開設ス創テ衆人入浴ノ溫泉場トナ
ル又弘治二年當時ノ領主吉岡安藝守ノ後裔親衛校尉源定勝公葦岡刑部今在
家ノ三ヶ村ヲ合併シ單ニ吉岡村ト改ム當村地下三四尺ノ一面皆砂礫ニシテ之ヲ穿掘ス
レハ葦ノ枯朽セルモノ數多アリ九百有餘年往昔
ノ地層ヲ想像スルニ足ル中古兵燹ニ罹リ舉村燒亡ス其後龜井武藏守茲矩公鹿野在城時更
ニ一ヶ所ノ湯ヲ掘ル之ヲ龜井殿ノ湯ト稱ス是ヨリ浴場再復ス又池田光仲公
因伯ノ太守タルヤ龜井殿湯ヲ分チ公家一族ノ浴湯ヲ設ケ之ヲ一ノ湯ト稱ス
稱呼大矣先是寛仁五年當國大守中納言橘行平郷菖蒲山藥師如來ノ靈像ナル
ヲ崇敬シ玉ト其ノ尊像ヲ京城ノ中央ニ迎エ安置ス京都因幡藥師ト稱スルモ
是ナリ京都因幡堂ノ境内ニ藥湯ヲ設クル之レニ起因ス其移ス時ニ當ツテ臺坐ヲ毫光ヲ菖蒲山藥師寺ニ
遺セリ後世之ヲ坐光寺ト號ス又吸湖山寶泉寺ニ安置スル藥師ハ惠心僧都ノ作

ト傳フ本寺ノ背後秋葉山ノ古墳ハ惠心僧都ノ墓ト云フ又藥師堂ノ胎内尊像ハ長者守護ノ本尊ナリト云
且ツ長者第宅ノ跡ヲ屋鋪谷ト字シ字湯似ニ四間四面餘ノ小丘アリ之ヲ長者ノ
墓地ト稱シ石塹猶ホ存ス嗚呼九百數十年ノ昔時ヨリ洗浴ノ効驗ヲ得ルモノ幾
萬人ナルヲ知フ時ニ或ハ盛衰アリ興廢アリト雖モ遂ニ一大溫泉場トナル皆
是葦岡長者ノ賜也現今内湯ト稱スルモノ貳拾壹ヶ所旅舍毎ト壹ヶ所或ハ貳ヶ
所ヲ設ケ外湯八ヶ所ハ村ノ中央ニ散在シ浴客四季ニ輻湊シ殷賑ヲ一小市ヲ爲
スニ至レリ是レヲ吉岡溫泉記トス焉

和歌

これや此わくはひかれる白糸ハハ吉岡將監公撰
くる人たへぬものにはわりける
明けくれはひぞふ湯歌も千萬の古
人

山内俊就
なにしとふよしや龜井の出湯にかきける
千代のよわいとかけてくみてせん

温泉沿革

明治廿五年調

本温泉ノ發見ハ應和二壬戌ノ年ニシテ今ヲ去ル九百三十年ナリ

本温泉浴室ノ創設ハ長和元壬子ノ年ニシテ今ヲ去ル八百八十年ナリ

因幡藥師如來ノ迎京ハ寛仁五丁巳ノ年ニシテ今ヲ去ル八百七十五年ナリ

本温泉花湯市ノ開始ハ享保元丙戌ノ年ニシテ今ヲ去ル百七十六年ナリ

本温泉丑湯市ノ開創ハ寶曆八戌寅ノ年ニシテ今ヲ去ル百三十四年ナリ

温泉浴ノ通規

(一) 此療法ヲ行フニハ本邦ノ如ク氣候溫和ナル地ハ陰曆三月上旬ヨリ全十月
上旬ニ至ルヲ最良ノ時季トス

(二) 此療法ニ要スヘキ時日ノ長短ハ甚タ豫定シ難シト雖モ概シテ三周ヲ以テ
通規トス又其病症ニ隨ヒテハ之ヲ三倍若クハ四倍スルコトアリ然リト雖モ
連續シテ五周乃至七周ニ及フ可カラス若シ數周連續シテ入浴セント欲ス
ルトキハ入浴時日中少クモ一周間餘中止ス可シ

(三) 浴數ハ病症ニ從ヒ異ナリ老者ハ一日二回壯者ハ三四回トス時間ハ午前八
時ヨリ午後一時或ハ五六時ヲ最良トス而シテ時候寒冷ニシテ感冒ノ恐メ
ルトキハ夜間臨臥ノ時ニ入浴スヘシ食后一時ヲ經過セザレハ入浴ス可カ
ラス

(四) 一浴ノ時間ハ泉質病症等ニ由テ均一ナラスト雖モ概シテ十分時ヨリ漸時
延長シテ五六十分時ニ達スヘシ尤モ熱湯、冷浴ハ十分時ヲ越ユ可カラス

(五) 飲服ノ量ハ亦泉質ト病症、體質如何ニ從テ異ナリ飲用ハ最初少量ニメ一
 回六十五瓦(廿五容量瓦)ヨリ始メ其量ヲ増加シ一日四百瓦ニ至ルヘシ而
 シテ一日ノ極量千瓦ヲ越エルヲ禁ス飲服ノ時刻ハ朝夕兩度ニ服用スヘシ
 若シ一回三二三蓋ヲ用ヒズセハ每蓋之間二十分時ヲ隔ツヘシ服用后ハ
 逍遙運動ヲ爲スヘシ然レモ漫ニ山川ヲ跋涉シテ身體ヲ過勞セシム可カラ
 (六) 此鑛泉療法ヲ入浴中服用共ニ年齡ニ於テハ禁忌スヘキナシ然レモ老人小
 兒及妊婦ニハ注意ヲ加フヘシ但シ妊婦ハ内服ノ量ヲ減スルヘシ
 (七) 鑛泉療法中ハ堅ク攝生ヲ護リテ過食、暴飲及過房ヲ禁制スヘシ

因州吉岡溫泉分析表

● 瘡 湯	○、〇〇〇二	硫化水素	○、〇〇〇二
硫酸黃泉	痕跡	硼酸	痕跡
泉質無色透明ニシテ味ヒナク硫 化水素ノ微臭ヲ有シ其反應ハ中 性ナリ異重ハ攝氏拾五度ニ於テ	痕跡	鐵	痕跡
一、〇〇〇五ニ居リ毎リ一テ	痕跡	礬土	痕跡
ル中〇、六八一瓦固形分	痕跡	麻屈涅矢亞	痕跡
ヲ含有ス即チ其成分左ノ如シ	痕跡	有機物	痕跡
硫酸那篤留謨	○、一三〇三	溫度	攝氏四拾三度
硫酸加留謨	○、〇六〇四	本泉醫治効用左ノ如シ	
硫酸加兒叟謨	○、一三三六	(一) 慢性筋攣麻質斯及ヒ筋強直	
格魯兒化那篤留謨	〇、二一九九	(二) 慢性痛風	
炭酸那篤留謨	〇、二〇七一	(三) 各種神經病の攣麻質斯ニ因ス ル者及ヒ痛風	
硅酸	〇、〇五五〇	(四) 慢性皮膚病例ハハ疥癬、白癬、 アルモノトス	

(五) 下腹充血、全身多血、肝臟腫大及口鈴、水銀等ノ慢性中毒ニ
 飲服セシメテ効アリ
 (六) 喉頭咽頭ノ慢性加答兒及ヒ氣管支加答兒ニ吸入セシメテ効アリ
 (七) 子宮及ヒ卵巢ノ慢性加答兒
 (八) 月經不調
 (九) 慢性關節炎、骨病、創傷炎ノ遺殘、癱瘓等ニ効アリ
 ●一、二、湯、龜井殿湯、荒湯、中湯、及ヒ旅館内湯
 鹽類泉
 泉質帶黃色清透ニシテ味ホナシ硫化水素ノ微臭ヲ放ツ其反應ハ弱亞兒加里性ナリ異重ハ攝氏拾六、五度ニ於テ一、〇〇三ニ居リ

每リ一テル中〇、五六二五瓦	蘭謀ノ固形分ヲ含有セリ即チ成分左ノ如シ	硫酸那篤留謀	〇、一九一七
		硫酸加留謀	〇、〇四八五
		硫酸加兒叟謀	〇、〇六九二
		格魯兒化那篤留謀	〇、二二一七
		重炭酸那篤留謀	〇、一一〇八
		重炭酸加爾叟謀	〇、〇六八八
		重炭酸麻屈涅叟謀	〇、〇〇六七
		硅酸	痕跡
		磷酸	痕跡
		鐵	痕跡
		麻屈涅矢亞	痕跡
		安母尼亞	痕跡

礬土 痕跡
 有機物 痕跡
 温度 攝氏 自四拾七度至五拾五度
 本泉醫治効用左ノ如シ
 (一) 各種慢性假麻質斯及ヒ假性關節強直或ハ假麻質斯性筋肉變縮症
 (二) 慢性痛風
 (三) 諸淋衝或ハ創傷後ノ滲出物或ハ慢性助膜炎、子宮周圍蜂窠織炎、骨盤内膜炎等ノ滲出物ヲ吸收シ其肥厚ヲ解散ス
 (四) 神經機亢盛ノ諸症或ハ各種神經ノ痲痺、經久ノ腦脊髓中風、知覺過敏、依卜昆塔里、歌私的里、神經衰弱症等ニ効アリ但

新發ノ腦中風、脊髓勞、腦腫瘍等ヨリ來ル漸進麻痺ニハ禁ス

新發ノ腦中風、脊髓勞、腦腫瘍等ヨリ來ル漸進麻痺ニハ禁ス

新發ノ腦中風、脊髓勞、腦腫瘍等ヨリ來ル漸進麻痺ニハ禁ス

(五) 婦人生殖器ノ慢性諸病
 (六) 貧血諸病及ヒ萎黃病
 (七) 腺病、瘰癧及ヒ重病後ノ恢復期
 (八) 慢性皮膚諸病、頑固ノ潰瘍、濕疹、創傷、癩瘡、骨瘍
 (九) 慢性貌禮篤病、腎孟加答兒、膀胱加答兒、其他累久ノ微毒、水銀劑療法後等ノ患者ニハ其時期ヲ撰ヒ之レテ用ヒテ効アリ

婦人生殖器ノ慢性諸病
 貧血諸病及ヒ萎黃病
 腺病、瘰癧及ヒ重病後ノ恢復期
 慢性皮膚諸病、頑固ノ潰瘍、濕疹、創傷、癩瘡、骨瘍
 慢性貌禮篤病、腎孟加答兒、膀胱加答兒、其他累久ノ微毒、水銀劑療法後等ノ患者ニハ其時期ヲ撰ヒ之レテ用ヒテ効アリ

婦人生殖器ノ慢性諸病
 貧血諸病及ヒ萎黃病
 腺病、瘰癧及ヒ重病後ノ恢復期
 慢性皮膚諸病、頑固ノ潰瘍、濕疹、創傷、癩瘡、骨瘍
 慢性貌禮篤病、腎孟加答兒、膀胱加答兒、其他累久ノ微毒、水銀劑療法後等ノ患者ニハ其時期ヲ撰ヒ之レテ用ヒテ効アリ

吉岡温泉ヨリ西驛里程表

(伯雲街道)

寶	水壹里廿八丁	青	谷四里拾七丁	泊	六里拾五丁
橋	津八里拾壹丁三十一間長	瀨	八里廿七丁二十九間由	良	拾壹里拾八丁
八	橋拾三里拾八丁	赤	崎拾四里五丁	御	來屋拾八里三丁
淀	江貳拾里拾壹丁	米	子貳拾貳里二十九丁	境	貳拾七里五丁
溝	口貳拾四里貳丁	二	部廿五里拾八丁	黑	坂廿八里廿三丁廿九間
三	朝拾貳里八丁三十一間倉	倉	吉拾里三拾五丁	關	金拾三里拾八丁
鹿	野貳里拾七丁	丁			

全上東驛里程表

(上方街道)

鳥	取貳里三拾四丁	河	原六里四丁拾七間用	夕	瀨八里拾貳丁
智	頭拾壹里三丁	駒	歸拾四里拾七丁	丁	
若	櫻拾里拾四丁拾貳間	間			
全上					
岩	井八里拾四丁	滯	生拾里貳拾丁	但	州湯村拾三里四丁拾貳間
(但州街道)					

明治二十三年一月初版
 全二十五年十月廿八日印刷
 全二十五年十一月十五日再版

定價金四錢五厘



著述者兼
發行者

小林彰義

鳥取縣因幡國高草郡吉岡村大字
吉岡村五拾壹番地

印刷者

吉田惣六

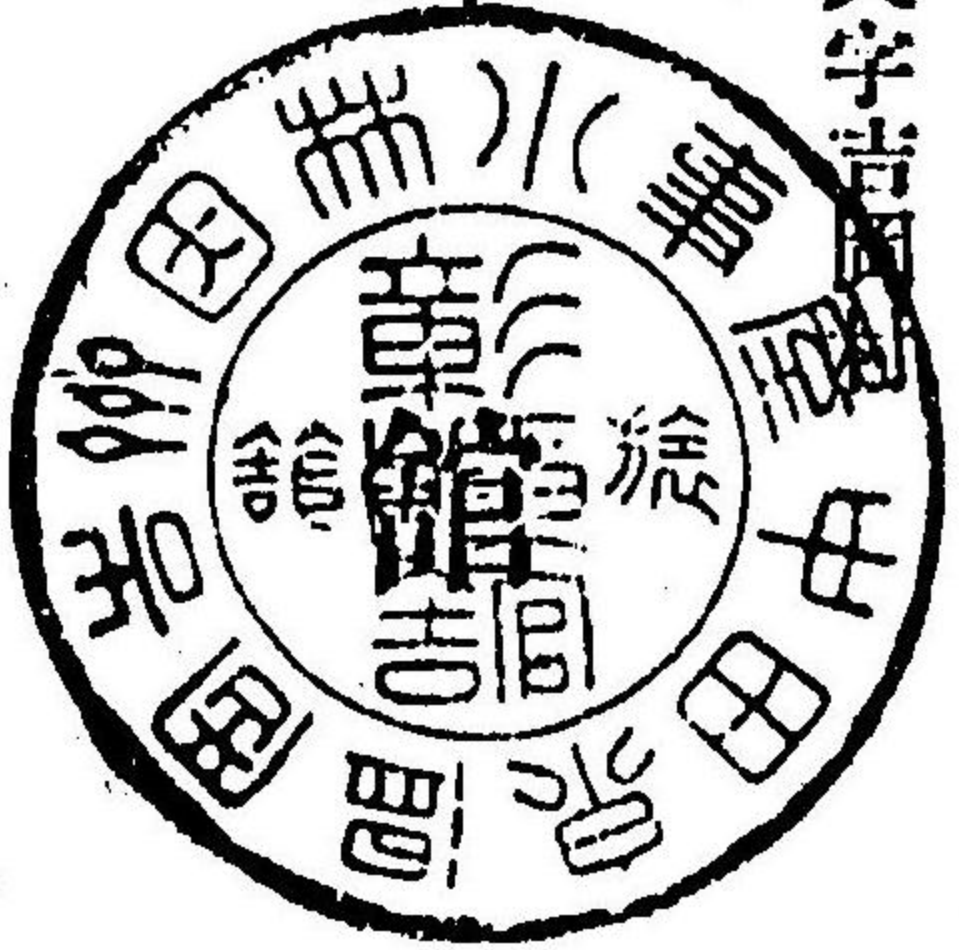
同縣同國鳥取市元魚町壹丁目
貳拾七番地

發行所

彰

暉

同縣同國高草郡吉岡村大字吉岡
五拾壹番地
田中屋事



207-09

